科目名	情報系資格対策講座１							年度	2026
英語科目名	Information Systems Qualifications Prep Course 1							学期	前期
学科・学年	ネットワークセキュリティ科　１年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	塚本	教員の実務経験		有	実務経験の職種		システムエンジニア		

【科目の目的】

情報活用検定3級に合格すること。

【科目の概要】

情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種検定試験対策を行います。

【到達目標】

ガイドラインとして習熟度を測り、能力を証明するために情報活用検定3級、2級の合格を目標とする。情報社会で活躍できる実践的スキル習得のため、情報の理念を理解し、経営戦略とシステム戦略の基礎知識、プロジェクトマネジメントに関する基礎知識、パソコンの基礎知識、インターネットの基礎知識、アプリケーションソフトの基礎知識を身につけることを目標とする。

【授業の注意点】

教科書を忘れずに持参すること。資格試験は、講義時間内の学習だけでは合格困難であり、学生自身が主体的に自宅学習を進めることが肝要である。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応をする。理由の無い遅刻や欠席は認めない。講義に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーを守ることを求める。（詳しくは、最初の授業で説明。）授業時数の４分の３以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	情報表現と処理手順を説明できる	情報表現と処理手順を理解することができる	情報表現と処理手順を概ね理解することができる	情報表現と処理手順をあまり理解できない	情報表現と処理手順を全く理解できない
到達目標 B	インターネットの基礎と利用を説明できる	インターネットの基礎と利用を理解することができる	インターネットの基礎と利用を概ね理解することができる	インターネットの基礎と利用をあまり理解できない	インターネットの基礎と利用を全く理解できない
到達目標 C	パソコンの基礎と情報機器の操作を説明できる	パソコンの基礎と情報機器の操作を理解することができる	パソコンの基礎と情報機器の操作を概ね理解することができる	パソコンの基礎と情報機器の操作をあまり理解できない	パソコンの基礎と情報機器の操作を全く理解できない
到達目標 D	情報社会とコンピュータ及び情報モラルを説明できる	情報社会とコンピュータ及び情報モラルを理解することができる	情報社会とコンピュータ及び情報モラルを概ね理解することができる	情報社会とコンピュータ及び情報モラルをあまり理解できない	情報社会とコンピュータ及び情報モラルを全く理解できない
到達目標 E	情報活用検定3級に合格できる	情報活用検定3級 の点数が60%以上	情報活用検定3級の点数が50%以上	情報活用検定3級の点数が40%以上	情報活用検定3級の点数が30%未満

【教科書】

情報活用試験2級 公式テキスト

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

目標資格の受験、合否結果、課題提出、および出席状況などを総合的に評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	情報系資格対策講座１	年度	2026
英語表記	Information Systems Qualifications Prep Course 1	学期	前期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	情報表現	情報手段としてのパソコンの在り方を理解する	1	情報の適切な選択	情報の適切な選択に関する知識を修得する	1	
			2	手段の適切な選択	手段の適切な選択に関する知識を修得する		
			3	過去問題の理解	上記分野の過去問題を理解		
2	処理手順	情報手段としてのパソコンの使用法を理解する	1	情報の収集・伝達	情報の収集・伝達に関する知識を修得する	1	
			2	問題解決の方法	問題解決の方法に関する知識を修得する		
			3	過去問題の理解	上記分野の過去問題を理解		
3	パソコンの基礎１	パソコンの基本構成を理解する	1	装置と媒体	装置と媒体に関する知識を修得する	1	
			2	OSの役割	OSの役割に関する知識を修得する		
			3	過去問題の理解	上記分野の過去問題を理解		
4	パソコンの基礎２	パソコンの基本的構成の取り扱いを理解する	1	データ保存の形式	データ保存の形式に関する知識を修得する	1	
			2	ファイルの管理	ファイルの管理に関する知識を修得する		
			3	過去問題の理解	上記分野の過去問題を理解		
5	インターネットの基礎１	インターネットの基本的な仕組みを理解する	1	インターネットの特徴	インターネットの特徴に関する知識を修得する	1	
			2	プロバイダの役割	プロバイダの役割に関する知識を修得する		
			3	過去問題の理解	上記分野の過去問題を理解		
6	インターネットの基礎２	インターネットのプロトコルの知識を習得する	1	TCP／IPの理解	TCP／IPに関する知識を修得する	1	
			2	プロトコルの理解	プロトコルに関する知識を修得する		
			3	過去問題の理解	上記分野の過去問題を理解		
7	インターネットの利用	インターネットの利用方法を理解する	1	ブラウザの利用	ブラウザの利用に関する知識を修得する	1	
			2	電子メールの利用	電子メールの利用に関する知識を修得する		
			3	過去問題の理解	上記分野の過去問題を理解		
8	情報機器の基本操作１	情報機器の基本操作を理解する	1	パソコンの基本操作	パソコンの基本操作に関する知識を修得する	1	
			2	情報機器の基本操作	情報機器の基本操作に関する知識を修得する		
			3	過去問題の理解	上記分野の過去問題を理解		
9	情報機器の基本操作２	アプリケーションソフトの種類と目的を理解する	1	アプリケーションソフトの種類	アプリケーションソフトの種類に関する知識を修得する	1	
			2	アプリケーションソフトの目的	アプリケーションソフトの目的に関する知識を修得する		
			3	過去問題の理解	上記分野の過去問題を理解		
10	情報社会とコンピュータ１	日々の生活とコンピュータの関わりを理解する	1	身近なコンピュータシステム	身近なコンピュータシステムに関する知識を修得する	1	
			2	身近なコンピュータシステムの役割	身近なコンピュータシステムの役割に関する知識を修得する		
			3	過去問題の理解	上記分野の過去問題を理解		
11	情報社会とコンピュータ２	コンピュータ上のセキュリティに関して理解する	1	セキュリティ	セキュリティに関する知識を修得する	1	
			2	高度情報化の問題点	高度情報化の問題点に関する知識を修得する		
			3	過去問題の理解	上記分野の過去問題を理解		
12	情報モラル	情報モラルを理解する	1	情報モラル	情報モラルに関する知識を修得する	1	
			2	ネチケット	ネチケットに関する知識を修得する		
			3	過去問題の理解	上記分野の過去問題を理解		
13	受験対策	過去問題を通しで実施	1	前回の過去問の実施	時間制限無しで実施する	1	
			2	解説	過去問題の理解		
14	受験対策	過去問題を時間計測して実施	1	前々回の過去問の実施	本番と同じ40分で実施する	1	
			2	解説	過去問題の理解		
			3	過去問題の理解	上記分野の過去問題を理解		
15	受験対策	過去問題を短縮時間で実施	1	前々々回の過去問の実施	時間を短縮して実施することでスピード感を養う	1	
			2	解説	過去問題の理解		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等